

編 集 規 定

1. 本誌は京都短期大学紀要と称する。
2. 本誌は成美学会の機関誌であって、原則として1年に1巻発行する。
3. 投稿資格を有する者は次の通りとする。
 - (1) 会則第4条(イ)の1項に規定された正会員、及び、会則第4条(ハ)に規定された特別会員。
 - (2) その他の会員については、投稿資格を有する会員との連名の場合に限る。
4. 本学会誌に掲載された論文の著作権は、成美学会に帰属する。したがって、本学会が必要とする場合は転載し、また外部から引用の申請があったときは本学会において検討のうえ許可することがある。ただし、著者は自著の引用を本学会の許可なしに行うことができる。
5. 内容は、会員各自の専門領域に関する、論文・研究ノートなどであり、その他必要に応じて、研究時評・書評などを掲載する。さらに、各会員の研究活動及び学会としての活動に関する記事を成美学会年報として編集登載する。
 - (1) 論文は、理論的な完成度の高いオリジナルな研究を報告するものとする。
 - (2) 研究ノートは、理論構成の基礎となるオリジナルな研究を報告するものとする。
 - (3) 研究時評は、学術的・文化的な価値のある近年のトピックについて、自由に私見や評論を展開するものとする。
 - (4) 書評は、近年出版された新刊書についての私見や評論とする。
 - (5) 成美学会年報は、その年度における各会員の研究活動状況の報告と成美学会が主催した講演会・合評会・公開講座の内容や各部会における活動報告・ニュースなどについての報告を行うものとする。
6. 原稿の採択および掲載順は、紀要編集委員会において決定する。
掲載に際して、原稿に修正を加える場合は、執筆者と相談する。
7. 執筆者には、1編につき抜刷50部を贈呈する。但し、希望があれば50部単位の実費負担とする。

執 筆 規 定

1. 原稿はパソコン・ワープロ入力し、フロッピー（使用ソフト名を明記し、テキストファイルも加える）とオリジナル原稿、コピー2部を添えて提出すること。
2. 横書きの場合は、本文（1頁42字33行、15頁以内、図表を含む）。タイトル（表題、氏名、英文表題・氏名）。要旨（49字8行以内）。キーワード（5語彙内）。縦書きの場合は、本文（1頁30字23行2段組、15頁以内、図表を含む）。タイトル（表題、氏名、英文表題・氏名）。要旨（49字8行以内）。キーワード（5語彙内）。
上記スタイルで入力すること。約20000字の原稿量より多い場合は実費負担とする。
3. 新かなづかい、当用漢字を用いること。
4. 図の原稿は半透明のタイプ用紙または淡青色方眼紙上に黒色インクで明瞭に製図し、写真は鮮明なものを提出すること。
5. 図には図1（Fig. 1）、図2（Fig. 2）…のように通し番号をつけ、表には表1（Table 1）、表2（Table 2）…のように通し番号をつけること。
さらに、各々の番号の後に図表の意味内容についての概略的な説明を付加すること。
6. 図表は本文とは別にまとめ巻末に一括して添付し、本文中にはその挿入箇所を明示すること。
7. 原稿の第1ページに和文表題・欧文表題及び執筆者名を明記すること。
8. 著者略歴（現職・主論文・主著）を記し、巻末に添付すること。
9. 文献の引用に際しては、引用箇所ならびに出典を明記すること。
引用した論文著書の名称は会員各自の専門分野の慣例に従って、各ページの脚注欄に逐次記載するか、又は巻末にまとめて記載すること。